

21. 泉平ハイツ

1 事業方針

日常生活において何らかの支援を必要とする高齢者が安心安楽な生活を送れるよう時代に即応した入所サービス、通所サービスを提供しています。

- 安心安全な環境で良質な介護サービスを提供します。
- ICTの活用等による介護サービスの効率的な提供と働きやすい職場環境づくりを推進します。
- 住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう支援します。
- 介護人材の確保と自ら考え行動できる人材の育成に努めます。
- 地域資源の円滑な活用と地域ニーズへの貢献活動を推進します。

2 実施事業及び職員体制

令和7年4月1日見込（単位：人）

事業種別	利用者数		職員数				
	定員	現員	介護員	看護職員	調理員	その他	合計
介護老人福祉施設	74	74	43	6	11	9	99
短期入所生活介護	16	12～16/日					
通所介護	25	10～18/日	6	2	1	0	
認知症対応型共同生活介護	18	18	19	0	0	1	
指定居宅介護支援事業	44	44	1	0	0	0	

* 職員数には非常勤職員を含む

* 職員数のその他は、事務、洗濯、庁務に係る職員

3 サービス業務

（1）入浴環境整備事業＜特別養護老人ホーム＞

平成26年に更新した特殊浴槽は、腐食によるトラブルで使用できないことが度々発生し、利用者に不便を掛けるとともに、修繕費も増加しています。また、一般浴槽の利用が少なくなっていることから一般浴槽の撤去や腐食の原因の一つである換気対策など入浴環境を整備し、機器トラブルによる入浴できない日を無くします。

（2）利用率向上事業＜特別養護老人ホーム＞

退所後の新規入所者の入所までの空床期間が長くなり、利用率が低迷し介護報酬収入が減少しています。空床が発生した際に、早急に調整業務を行えるよう適切な待機者管理を行うとともに、管理者、現場リーダー等とのコミュニケーションを取り情報の共有を図ります。また地域の医療機関や高齢者施設、居宅介護支援専門員等と連携し情報共有を図りながら、新規申込者の掘り起こしを行い、利用率を94%以上（70名以上）とします。

（3）稼働率安定化事業＜ショート＞

施設入所等により定期利用者が減少することがあります。在宅に近い環境や身体を動かす機会を増やすなど在宅生活が継続できるよう身体機能の維持に向けたサービスを提供するとともに、居宅ケアマネとの連携、信頼関係を築き、新規利用の獲得を目指し、利用率を85%以上とします。

(4) 新規利用者獲得事業<デイサービス>

利用者の施設への入所、感染症による利用自粛や多くの競合他社の存在などにより利用者が低迷しています。サービス内容について、利用者、お試しされた方、家族、居宅介護支援事業所職員からの意見聴取やデイ会議での協議により、随時見直しし、安心して楽しく利用できるよう充実を図るとともに、豊野ふれあい祭等イベントでのチラシの配布などPR活動を行い、利用者数を1日平均15人以上とします。

(5) 安全で快適な暮らしの場提供事業<グループホーム>

利用者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、介護計画(認知症対応型共同生活介護計画)や日々の様子やケアの実践・結果、気づきなど介護支援ソフト(個別記録)に記入された情報を共有しながら実践や介護計画を見直しするとともに、認知症ケアの専門性を活かしたチームケアに取り組みます。

(6) 多職種との連携強化事業<居宅介護支援事業所>

85歳以上の高齢者の増加等を見据え、地域医療構想が進められており、今後、住み慣れた地域で連携し合える体制の整備が求められています。医療行為が必要な利用者が安心して介護サービスを利用できるよう主治医や訪問看護と連携し、ケアプランの作成、見直しを行い、各サービス事業所も安心して受け入れができるように情報を共有します。

4 管理業務

(1) 施設運営

- ・高齢者虐待防止を徹底するため、倫理意識の向上を図るなど再発防止策を実施するとともに、虐待の芽となる「不適切ケア」のない介護環境の整備に取り組みます。
- ・利用者が安全安心に暮らせるよう施設内のリスクを最小限とするため、ヒヤリハット事故報告書を積極的に活用し、原因分析、事故対策を速やかに行うなどリスクマネジメントを強化します。
- ・介護人材を確保し職員不足を解消するため、介護福祉士養成校等の実習生の積極的な受け入れや介護助手など多様な働き方、柔軟な勤務形態による就労がしやすい環境整備を行うとともに、外国人介護人材の受け入れを検討します。
- ・障がい福祉及び介護に関する知識や技術を共有し人事交流が図られるよう、長野ブロックとの研修(実習)を実施します。

(2) 公益的取り組み、地域貢献活動等

- ・認知症サポーター講座等の開催を通じて地域における認知症の理解に向けた普及啓発に努めるとともに、高齢者介護に係る専門性を地域イベントへの参加等を通じて地域に還元します。
- ・地域の行事や清掃活動に積極的に参加するとともに、ボランティアの受け入れや地域の方を施設行事に招待して交流を図ります。
- ・職業体験やボランティア活動の場として地域の中学生等を受け入れるなど交流を図ります。
- ・住民自治協議会等と連携し、交通手段がなく地域イベントに参加できない地域の方の送迎を行います。

(3) 修繕、改修予定(100万円以上)

- ・特殊浴槽(平成26年設置)の更新及び浴室改修工事<特別養護老人ホーム>